

令和2年度 学校自己評価表 安芸太田町立上殿小学校

3学期

教育目標		豊かな人間性と 将来をたくましく生きぬく児童の育成						
学校経営の重点		○主体的な学びの育成…深い学びを引き出す授業づくり ○基礎基本の定着・活用 ○探求的な体験活動を通じた豊かな感性の育成 ○基本的生活習慣の確立						
中期経営目標		短期経営目標	担当	目標達成のための方策	評価指標	資料	3学期達成状況	3学期 最終コメント
確かな学力の定着	学ぶ意欲や学び合う態度を身につけさせ、よりよく問題解決ができる子供を育てる。	学びに向かう力を高め、深い学びを育成する。	教務	深い学びのある単元づくり・授業づくりを通して、課題を発見する力、主体的に学ぶ姿勢、協同する力、課題解決するための整理分析をする力を育てる。	児童アンケート肯定的回答80%以上。ノート・ワークシートの記述が評価規準のB規準以上の児童の割合80%以上。	児童アンケート ノート ワークシート	3	児童アンケート「生活科・総合的な学習の時間の授業はすきです。」の肯定的回答は、72%であった。ノート等の児童の記述がB規準以上の児童の割合は、100%であった。3学期の総合的な学習の時間では、高学年は折り鶴アートを作成し、広島赤十字・原爆病院へ贈った。患者さんや医療従事者の方を思いながら、主体的に学ぶ力が伸びた。中学年は上殿和紙について探求し、課題を整理する力が伸びた。生活科や総合的な学習の時間での学びを統合して課題を解決する力が高まり、学力テストでも昨年度より活用力が伸びた。
		基礎基本の定着を図る。		教材等の特質に応じた見方、考え方を習得する授業改善を進める。帯タイムや補充学習・家庭学習における基礎基本の力をつける取組を継続し、学力の向上を図る。	国語・算数の学期末テスト全国平均以上の児童の割合75%以上。	学期末テスト	3	学年末テスト全国平均以上の児童の割合は、国語79.1%、算数54%である。1学期は、国語58%、算数75%、2学期は、国語62.5%、算数67%であったので、国語はかなり上がったが、算数は、下がってしまった。漢字検定に向けた取り組みを各学級で徹底したことで、国語の力を伸ばすことができたと思われる。今後も週1タイム等、学力補充の取組を計画的に行い、力をつけていく。また、学力テストの結果を分析し、来年度に向けて取り組んでいく。
豊かな心の育成	心豊かな子供を育てる。	当たり前のことをきちんと行う、自己指導力を高める。	生活安全	ルールや決め事の内容及びその意味を児童に周知させる。児童会の月目標の取り組みの中で、学期に1回目標達成キャンペーンを実施し、ルールを守ろうとする意欲を高める。	キャンペーン期間中の月目標の達成率80%以上。	児童会主催の キャンペーン結果	3	3月の生活目標は、6年生と過ごす期間が残り1月となり、一緒に楽しい時を過ごしたいという思いで「みんなと仲良く遊ぶ」とした。そして、児童会が全校遊びを計画し、みんなで楽しむことができた。今後も全校遊びを計画している。日常でも、誘い合って遊んでいる。
		自己肯定感を高める。		児童理解の職員研修を行い、共通認識を持って児童へ関わる。互いを認め合ったり自分を肯定的に認めたりする場を設ける。	児童アンケートにおける肯定的評価の割合70%以上。	児童アンケート	2	2学期の児童アンケートを受けて、否定的評価をした児童に、そう答えた理由を聞き取ったり、職員間で交流したりして自己肯定感を高めるための働きかけをした。しかし、児童アンケートでは、「自分のことが好きです。」という項目は56%、「自分のいいところや得意なことを3つ言える。」という項目は64%であった。どちらも目標を下回った。
健やかな身体の育成	たくましい体を持った子供を育てる。	基本的生活習慣を確立する。	生活安全	年間2回の生活振り返り活動を行い、基本的生活習慣の確立、特に起床時刻・就寝時刻の固定を目指す。	生活振り返り活動における起床時刻・就寝時刻の固定ができた児童の割合80%以上。	生活振り返りアンケート	2	3学期は生活振り返り活動を実施しないので児童アンケートにて実態を把握した。時刻の固定については76%の児童が肯定的回答をしていた。また、11時以降に就寝することがある児童は32%で、1・2学期の結果と比べ、早く寝ようという意識の変化がみられようになった。休日は84%の児童がすっきり起きられると答えているが、平日は64%で、半数近くが授業中に眠くなる実態があり、平日の睡眠が十分でないことは今後の課題である。
		体力の向上を図る。		業間運動の充実や体育科授業改善を図る。	一輪車カードから各自1つの種目を選び、その種目の達成率を80%以上。体力テストで昨年度の県平均を下回った種目(2種目)において、前回記録を上回った児童の割合80%以上。	記録	3	業間運動や体育科で、縄跳びのいろいろな技に挑み、回数多く跳ぶことに取り組んだ。俊敏に動く力が伸びるような運動も取り入れた。体力テストで県平均を下回った反復横跳びの記録を取り、比較すると、前回記録を上回った児童の割合は76%だった。
開かれた学校づくり	信頼される学校づくりを推進する。	情報発信を積極的に行い、保護者・地域の理解を深める。	総務	・学校からの便りやHPの更新を通して、情報提供を行う。 ・来校の機会を通して、互いの理解を深める。	学期ごとに行う保護者アンケートにおいて、肯定的な評価を90%以上にする。	保護者アンケート	4	保護者アンケートで「学校からの便りやホームページ、PTA集会等を通して学校の様子がよくわかる。」という項目は100%だった。新型コロナウィルスの感染拡大の影響によって学校に来ていただく機会が減少したが、学校からの便りやホームページを中心に情報を発信するとともに、運動会や学校公開等を通して、学校の取組や児童の様子について伝えることができたと思う。
		働き方改革を推進する。		・優先順位をつけて効率的に業務を進めることの習慣化を図る。 ・日々の業務や学校行事等の持ち方を見直し、児童と向き合う時間を確保する。	指針に沿って、次の数値以下にする。 勤務時間外在校時間 月45時間 年360時間	勤務時間外在校 時間記録表	2	勤務時間外在校時間 月45時間の達成状況は、4月から10月では64.3%、11月から2月では71.4%の達成率だった。働き方を見直し、日々の業務を進めている。校内研修等を通して働き方を見直し、業務改善を今後も継続する。

評価基準

4:100%達成 3:80%おおむね達成 2:60%以上達成 1:60%未満